

年間重篤患者数(平成23年4月～平成24年3月)

番号	疾病名	基準	患者数 (人)	退院・転院 (転棟を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	43	7	36
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	132	125	7
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	59	52	7
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例	33	22	11
5	重症外傷	Max AISが3以上又は緊急手術施行例	37	33	4
6	重症熱傷	Artzの基準による	3	3	0
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例	3	3	0
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	4	2	2
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	3	2	1
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	2	1	1
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等	0	0	0
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1から11までを除く。)	12	9	3
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例(1から11までを除く。)	40	35	5
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1から11までを除く。)	0	0	0
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1から11までを除く。)	21	17	4
16	重篤な肝不全	血漿交換又は血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	0	0	0
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	2	2	0
18	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クレーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を実施した症例(1から17までを除く。)	76	62	14
合計			470	375	95